

令和3年度 第3回苫小牧市航空機騒音対策協議会

日 時 令和3年11月19日（金）
午後6時30分
場 所 JFE リサイクルプラザ苫小牧
2階 会議室

次 第

1 開 会

2 副会長選出

3 会長挨拶

4 部長挨拶

5 議 題

(1) 報告事項

ア 米軍再編に伴う米軍機訓練移転について

① 「米軍再編に係る嘉手納飛行場から千歳基地への訓練移転」

に関する報告について 【資料1-1】

② 沖縄県の負担軽減調査結果について

【資料1-2】

イ 航空機事故関連について

① 令和3年度（上半期）航空機部品等落下について

【資料 2】

ウ 令和3年度要望活動結果について

【資料 3】

エ 新千歳空港における最近の動向について

① 令和3年度上半期 新千歳空港における民航機の引き返し及び

目的地外空港への着陸について 【資料 4】

(2) 協議事項

ア 令和3・4年度再編関連訓練移転等交付金事業について

【資料 5】

6 その他

千歳基地への訓練移転実施内容について

資料 1 - 1

期 間	令和3年9月13日(月)～令和3年9月22日(水)			
訓 練 回 数	9月13日	9:15～11:35	日本海側 太平洋側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×8機
		14:00～16:30	日本海側 太平洋側	米軍F-15×7機、自衛隊F-15×8機
	14日	9:15～11:40	日本海側 太平洋側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×8機
		14:00～16:30	日本海側 太平洋側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×8機
	15日	9:15～11:40	日本海側	米軍F-15×7機、自衛隊F-15×8機
		14:00～16:25	日本海側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×8機
	16日	9:15～10:55	日本海側	米軍F-15×8機
		15:20～17:25	日本海側	米軍F-15×8機
	17日	08:55～10:55	日本海側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×12機
	21日	09:50～11:20	太平洋側	米軍F-15×8機
		14:45～16:15	日本海側 太平洋側	米軍F-15×8機
	22日	09:15～11:05	太平洋側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×10機
		13:55～15:45	太平洋側	米軍F-15×8機、自衛隊F-15×6機
計 13 回			日本海側 10 回 太平洋側 8 回 ※航空救難訓練は1回実施	
参 加 部 隊	米 軍：第18航空団(嘉手納) 航空自衛隊：第2航空団(千歳)、航空救難団(千歳及び秋田)			
使 用 基 地	千歳基地			
演 練 項 目	戦闘機戦闘訓練及び航空救難訓練等			
使用訓練空域	北海道西方空域及び三沢東方空域			
参 加 規 模	タイプⅡ訓練 米 軍：F-15×12機、E-3C×1機、人員約240名 航空自衛隊：F-15×12機、U-125A×1機、UH-60J×1機			
米 軍 の 移 動 関 係	9月9日：F-15戦闘機×12機 飛来 12日：C-17輸送機×1機 到着 13日：C-17輸送機×1機 離陸 14日：E-3C空中警戒管制機×1機 到着 ：C-17輸送機×1機 到着、離陸 24日：F-15戦闘機×12機 帰還 ：E-3C空中警戒管制機×1機 帰還 ：F-15戦闘機×2機 到着(燃料系統確認のため) 25日：C-17輸送機×1機 到着、離陸 26日：C-17輸送機×1機 到着、離陸 27日：F-15戦闘機×2機 帰還			
米 軍 人 の 外 出	外出なし			
現 地 部 連 絡 本 部	設 置: 令和3年9月6日(月) 閉 所: 令和3年9月27日(月)			

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果等について

【苫小牧市】

苦 情 0件

問い合わせ等 0件

【千歳市】

苦 情 1件 ・騒音について

問い合わせ等 1件 ・土日、祝日における訓練の有無

【現地連絡本部】

苦 情 0件

問い合わせ等 0件

訓練移転に伴う騒音測定結果について

令和3年9月実施

資料

- 訓練移転に伴う騒音測定地点
- 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果
- 苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden
- 評価

令和3年9月 訓練移転に伴う騒音測定地点

- | | | |
|---|--------------|----|
| ○ | 苫小牧市常時測定局 | 6局 |
| ● | 北海道常時測定局 | 9局 |
| ■ | 北海道防衛局常時測定局 | 1局 |
| ★ | 北海道防衛局臨時測定地点 | 3局 |
| ★ | 苫小牧市臨時測定地点 | 3局 |

錦多峰浄水場

糸井局

双葉3丁目公園

あけの公園

清流公園

植苗南町内会集会所

植苗公園局

丹治沼局

植苗局

ウトナイ局

沼ノ端局

勇払9号公園

勇払局

沼ノ端東雲局

沼ノ端東局

琥珀荘局

植苗会館局

斎藤宅局

湖畔局

美沢局

令和3年9月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果

単位:dB

【最高値】

【参考値】

		F-15(米軍)				F-15(自衛隊)				令和2年度(年間)		これまでの 訓練移転 最高値	
		苫小牧 側離陸	苫小牧 側着陸	千歳側 離陸	千歳側 着陸	苫小牧 側離陸	苫小牧 側着陸	千歳側 離陸	千歳側 着陸	最高値	平均値		
苫小牧市	臨時	あけの公園	78.1	-	-	-	68.1	63.5	-	-	-	-	-
		双葉3丁目公園	78.4	-	-	-	66.6	-	-	-	-	-	-
		錦多峰浄水場	70.5	82.8	-	-	55.2	66.2	-	-	-	-	76
	常時	植苗会館局	77.4	-	-	-	75.4	63.6	-	-	89	66	83
		丹治沼局	88.0	76.3	-	-	83.6	71.9	-	-	91	72	96
		琥珀荘局	77.2	63.8	-	-	75.2	64.5	-	-	93	67	85
		沼ノ端東局	85.8	84.3	-	-	80.1	78.2	-	-	86	68	90
沼ノ端局	86.2	94.4	-	-	80.9	87.9	-	-	99	72	97		
糸井	76.8	73.0	-	-	62.4	-	-	-	84	69	76		
北海道	常時	植苗局	82.5	72.4	-	-	81.7	73.4	-	-	91	73	94
		ウトナイ局	88.7	101.0	-	-	87.1	88.0	-	-	97	73	99
		美沢局	76.3	-	-	-	71.4	61.6	-	-	86	65	81
		湖畔局	83.3	74.9	-	-	85.3	76.4	-	-	94	71	94
		斉藤宅局	77.0	-	-	-	75.2	63.5	-	-	88	63	86
		植苗公園局	90.7	83.7	-	-	88.4	85.9	-	-	95	70	97
		勇払局	79.2	75.3	-	-	70.5	-	-	-	91	66	89
		沼ノ端東雲局	87.7	89.8	-	-	85.8	78.2	-	-	91	68	96
勇払東局	80.1	73.0	-	-	73.2	-	-	-	88	65	87		
防衛省	臨時	植苗南町内会	88.4	68.0	-	-	84.6	70.7	-	-	-	-	96
		清流公園	90.2	104.8	-	-	88.7	94.6	-	-	-	-	100
		勇払9号公園	77.9	79.5	-	-	68.7	84.9	-	-	-	-	93
	常時	沼ノ端局	85.8	94.0	-	-	82.0	92.7	-	-	-	-	98

【備考】

- ① 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを表しています。
- ② 参考値の令和2年度(年間)の測定値には、自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。

苫小牧市内航空機騒音常時測定局 Lden

単位: dB

		訓練期間中 9月9日 ～9月27日のLden			R2年度4月～3月の Lden日最大値
苫小牧市	植苗会館局	40	～	51	54
	丹治沼局	54	～	58	61
	琥珀荘局	38	～	53	56
	沼ノ端東局	48	～	55	57
	沼ノ端局	43	～	57	64
	糸井	0	～	41	46
北海道	植苗局	52	～	57	59
	ウトナイ局	42	～	59	59
	美沢局	42	～	46	51
	湖畔局	52	～	58	59
	斉藤宅局	38	～	47	48
	植苗公園局	45	～	56	57
	勇払局	40	～	49	52
	沼ノ端東雲局	50	～	56	58
	勇払東局	42	～	49	50

※ 訓練期間中のLden値は評価時間に達していないため、環境基準の評価は適用できません。

評 価

○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局の測定において、米軍訓練移転時の過去最高値となる 101.0dB が観測されました。

※ 臨時測定点を含めた全局における最高値

・米 軍 機 F-15

清流公園(国臨時) : 104.8 dB (9月9日 午後飛来による着陸時)

・自衛隊機 F-15

清流公園(国臨時) : 94.6 dB (9月13日 午前訓練着陸時)

○Lden について

苫小牧市、北海道の常時測定局 15 局における日 Lden 値については、令和 2 年度の日最大値以下でした。

今回の訓練移転における騒音測定値は、米軍訓練移転時の過去最高値を観測したものの、Lden 値は第 2 航空団が行っている通常訓練の範囲内でした。

米軍再編に係る訓練移転に関する沖縄県の負担軽減調査結果

照 会 項 目		沖 縄 市	嘉 手 納 町	北 谷 町
(1) 令和2年度の環境基準超過日数を教えてください。	元年度(前回)	市内の5ヶ所の測定局 205日	町内の4ヶ所の測定局 527日	町内の5ヶ所の測定局 212日
	2年度(今回)	市内の5ヶ所の測定局 211日	町内の5ヶ所の測定局 711日	町内の5ヶ所の測定局 204日
2カ年度の比較		6日	184日	-8日
(2) 令和2年度に嘉手納基地へ飛来した外来機の機数につきまして、把握されておりましたらお教えください。		沖縄防衛局の情報で把握している。	沖縄防衛局からの情報提供、新聞報道等に基づいて作成している。 戦闘機等の大量飛来は57機。 ※4機以上でカウント	嘉手納基地においては、事前通告もなく頻繁に外来機が飛来しており、すべての外来機の飛来機数については把握することが困難な状況であります。 沖縄防衛局では、嘉手納飛行場における有人による航空機運用実態目視調査を24時間行っており、常駐機・外来機の機種や離着陸等回数を調査し、毎月嘉手納飛行場周辺の自治体（北谷町、嘉手納町、沖縄市）へ提供しております。
(3) 令和2年度の訓練移転実施により、貴市(町)への負担が軽減されたとお考えですか。		各航空機騒音測定局における環境基準値の超過日数の合計が平成27～31年度における平均240日に対し、令和2年度は211件と12.1%減少しています。 また、航空機騒音等に関する苦情件数が、平成27～31年度における平均190.8件に対し、令和2年度は69件と63.8%減少しています。 一方で、外来機の飛来や暫定配備による訓練が実施された場合、航空機騒音等に関する苦情件数は増加する傾向にあり、常駐機の訓練移転による負担軽減がなかなか実感できない状況があります。	令和2年度の訓練移転実施期間中の負担軽減については、8/24-28の期間において、Lden値及び騒音発生回数の1日平均値が、1年を通して算出した1日平均値と比較して軽減された結果となっています。 しかしながら、環境基準超過日数を見ると、嘉手納局で228日、屋良局で196日と依然として大きな負担を強いられているのが現状です。 本町は、訓練移転をはじめとしたあらゆる負担軽減策を実施していただくよう、政府及び関係機関に対し要請を行っています。	令和2年度の本町における航空機騒音測定局の環境基準値の超過日数については、上勢局・北玉局が前年度より増加、宮城局・砂辺局・桑江局が前年度より減少となっております。しかし、嘉手納飛行場の滑走路の延長線上に位置し、県内の中でも航空機騒音被害が大きい砂辺地域においては、令和2年度の環境基準値の超過日数(Lden)は令和元年度と比較し8日減少しているものの、144日も環境基準値を超過しております。 また、騒音発生回数については、令和元年度が66,702回だったのに対し、令和2年度は67,762回と前年度と比較して1,060回の増加となっております。令和2年度に住民から寄せられた、嘉手納基地から派生したと思われる航空機騒音(騒音・低空飛行・飛行経路逸脱等による苦情)に関する苦情件数は125件で、令和元年度の106件より19件増加しております。 令和2年度における在日米軍再編に係る嘉手納飛行場から他基地への訓練移転は3回実施されましたが、嘉手納飛行場においては県外及び国外から外来機が多々飛来している状況であるため、本町といたしましては訓練移転の実施により騒音被害の負担は軽減されていないと考えております。

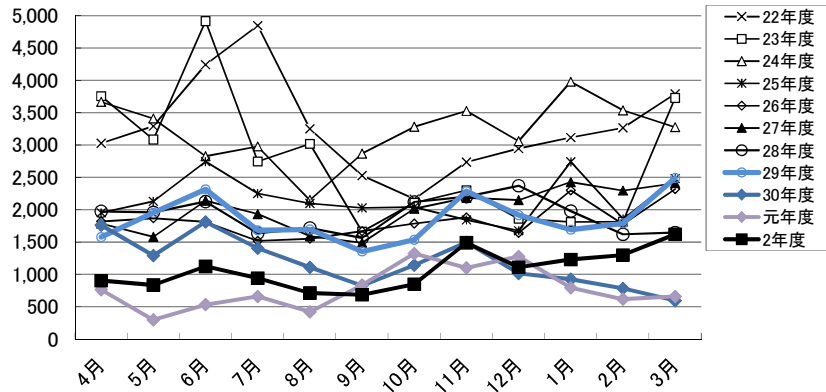
嘉手納飛行場周辺地域騒音測定結果

嘉手納町 測定局名：屋良（やら）

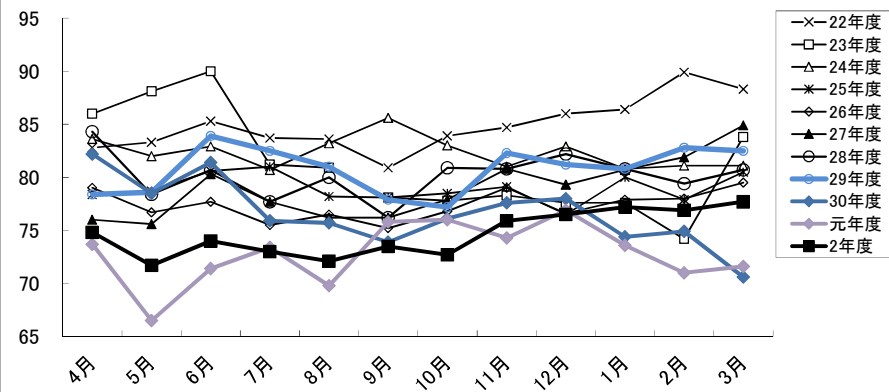
観測回数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
4月	3,028	3,757	3,667	1,951	1,820	1,785	1,975	1,578	1,760	762	904
5月	3,292	3,086	3,408	2,129	1,868	1,581	1,960	1,951	1,290	296	834
6月	4,241	4,915	2,827	2,744	1,811	2,138	2,127	2,314	1,811	533	1,124
7月	4,846	2,746	2,977	2,249	1,518	1,934	1,635	1,682	1,405	658	939
8月	3,250	3,017	2,151	2,095	1,550	1,591	1,718	1,695	1,111	419	712
9月	2,528	1,660	2,866	2,027	1,668	1,489	1,562	1,354	824	836	685
10月	2,164	2,107	3,281	2,040	1,787	2,016	2,118	1,535	1,142	1,323	849
11月	2,738	2,298	3,526	1,841	1,879	2,183	2,200	2,287	1,496	1,100	1,489
12月	2,945	1,862	3,060	1,676	1,641	2,147	2,371	1,917	1,016	1,277	1,109
1月	3,116	1,810	3,979	2,739	2,298	2,427	1,977	1,691	923	792	1,229
2月	3,264	1,816	3,536	1,859	1,776	2,294	1,619	1,790	783	615	1,299
3月	3,792	3,729	3,276	2,482	2,318	2,411	1,644	2,490	594	660	1,619

WECPNL	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
4月	82.8	86.0	83.6	78.4	79.0	76.0	84.3	78.4	82.2	73.7	74.8
5月	83.3	88.1	82.0	78.7	76.7	75.6	78.4	78.6	78.5	66.5	71.7
6月	85.3	90.0	82.9	80.6	77.7	80.3	80.7	83.9	81.4	71.4	74.0
7月	83.7	81.2	80.7	81.0	75.5	77.7	77.7	82.5	75.9	73.4	73.0
8月	83.6	80.9	83.2	78.2	76.5	76.2	80.0	81.0	75.7	69.8	72.1
9月	80.9	78.1	85.6	78.1	75.2	76.2	76.2	77.9	73.9	75.8	73.5
10月	83.9	77.8	83.0	78.5	76.8	77.9	80.9	77.2	76.1	76.0	72.7
11月	84.7	78.3	81.0	79.1	79.0	80.8	80.8	82.3	77.6	74.3	75.9
12月	86.0	77.6	82.9	76.5	76.6	79.3	82.2	81.2	78.0	76.9	76.5
1月	86.4	77.6	80.8	80.0	77.9	80.7	80.8	80.8	74.4	73.6	77.2
2月	89.9	74.2	81.1	77.9	78.0	81.9	79.4	82.8	74.9	71.0	76.9
3月	88.3	83.8	81.1	80.5	79.5	84.9	80.7	82.5	70.6	71.6	77.7

観測回数



WECPNL

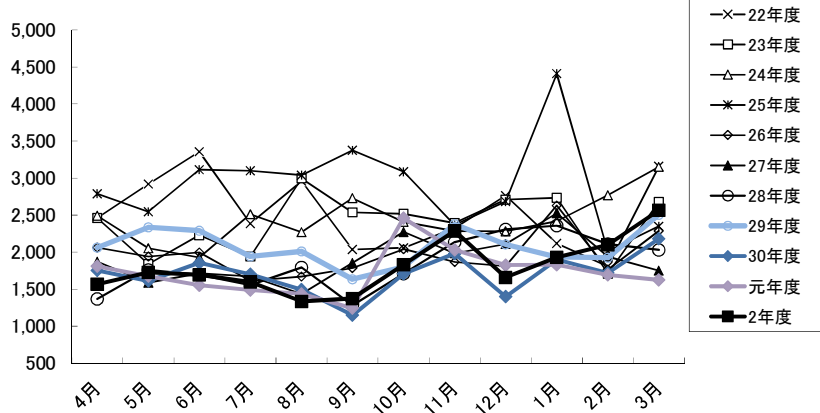


北谷町 測定局名：砂辺（すなべ）

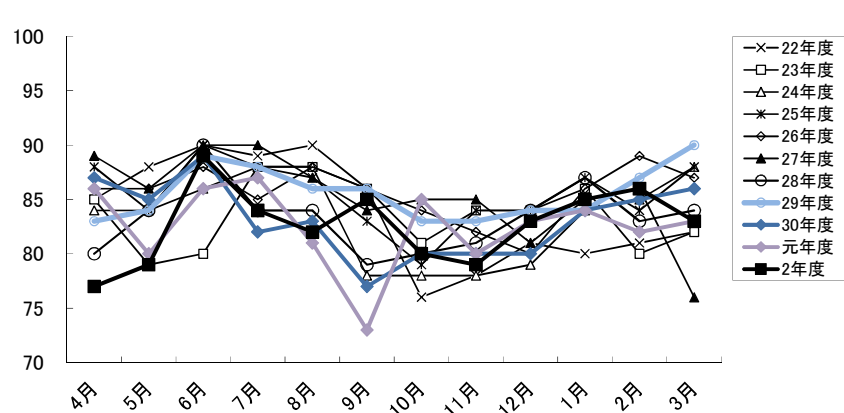
観測回数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
4月	2,461	2,461	2,491	2,788	2,062	1,870	1,368	2,060	1,752	1,811	1,568
5月	2,918	1,839	2,052	2,547	1,941	1,588	1,759	2,335	1,611	1,676	1,728
6月	3,355	2,228	1,927	3,114	1,996	1,713	1,692	2,288	1,856	1,553	1,692
7月	2,386	1,942	2,510	3,100	1,612	1,672	1,557	1,942	1,701	1,487	1,596
8月	2,959	2,995	2,269	3,038	1,669	1,436	1,794	2,010	1,494	1,435	1,335
9月	2,036	2,537	2,729	3,374	1,784	1,853	1,282	1,634	1,148	1,244	1,374
10月	2,057	2,518	2,410	3,085	2,042	2,271	1,709	1,802	1,707	2,459	1,831
11月	2,324	2,393	2,282	2,365	1,866	1,983	2,135	2,376	1,980	2,030	2,285
12月	2,762	2,708	2,281	2,683	1,809	2,109	2,307	2,103	1,400	1,824	1,660
1月	2,119	2,734	2,416	4,410	2,629	2,526	2,357	1,936	1,897	1,831	1,931
2月	1,807	1,711	2,769	2,014	1,765	1,939	2,109	1,925	1,719	1,694	2,098
3月	3,158	2,677	3,149	2,348	2,285	1,749	2,030	2,504	2,181	1,626	2,565

WECPNL	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
4月	85.0	85.0	84.0	88.0	86.0	89.0	80.0	83.0	87.0	86.0	77.0
5月	88.0	79.0	84.0	84.0	86.0	86.0	84.0	84.0	85.0	80.0	79.0
6月	90.0	80.0	86.0	90.0	88.0	90.0	90.0	89.0	89.0	86.0	89.0
7月	89.0	88.0	88.0	88.0	85.0	90.0	84.0	88.0	82.0	87.0	84.0
8月	90.0	88.0	88.0	87.0	88.0	87.0	84.0	86.0	83.0	81.0	82.0
9月	86.0	86.0	78.0	83.0	86.0	84.0	79.0	86.0	77.0	73.0	85.0
10月	76.0	81.0	78.0	79.0	84.0	85.0	80.0	83.0	80.0	85.0	80.0
11月	78.0	84.0	78.0	84.0	82.0	85.0	81.0	83.0	80.0	80.0	79.0
12月	81.0	84.0	79.0	84.0	80.0	81.0	84.0	84.0	80.0	83.0	83.0
1月	80.0	86.0	84.0	87.0	86.0	85.0	87.0	84.0	84.0	84.0	85.0
2月	81.0	80.0	85.0	84.0	89.0	86.0	83.0	87.0	85.0	82.0	86.0
3月	82.0	82.0	88.0	88.0	87.0	76.0	84.0	90.0	86.0	83.0	83.0

観測回数



WECPNL

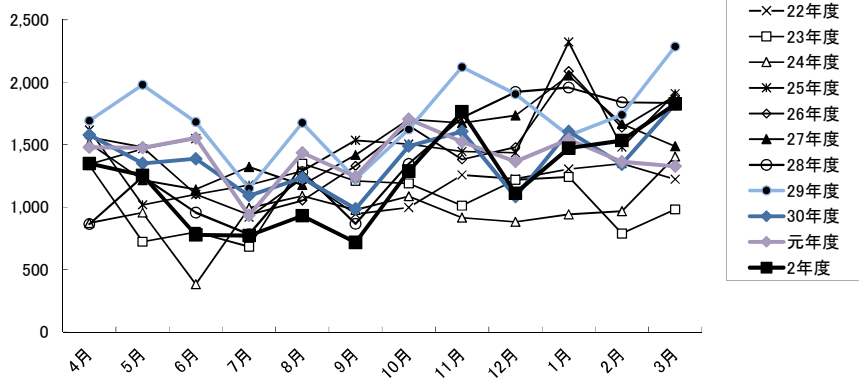


沖縄市 測定局名：知花（ちばな）

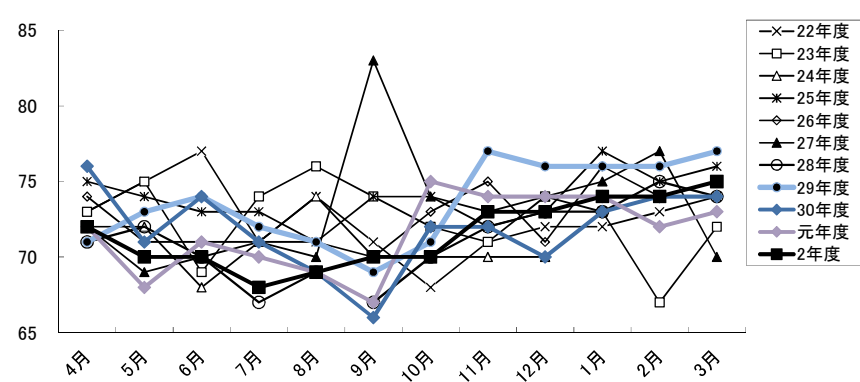
観測回数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
4月	1,344	1,334	873	1,618	1,561	1,512	865	1,691	1,579	1,478	1,348
5月	1,467	723	955	1,018	1,481	1,217	1,244	1,980	1,350	1,475	1,253
6月	1,548	801	382	1,102	1,103	1,142	955	1,681	1,388	1,553	779
7月	919	683	993	1,176	938	1,321	782	1,151	1,091	934	772
8月	1,230	1,347	1,089	1,289	1,052	1,178	1,280	1,675	1,235	1,435	931
9月	944	1,210	978	1,534	1,329	1,417	866	1,225	986	1,244	717
10月	997	1,190	1,086	1,504	1,652	1,703	1,346	1,623	1,489	1,704	1,289
11月	1,257	1,012	916	1,444	1,382	1,673	1,716	2,122	1,605	1,522	1,762
12月	1,227	1,218	882	1,434	1,481	1,734	1,921	1,905	1,083	1,365	1,111
1月	1,304	1,242	943	2,322	2,089	2,054	1,957	1,573	1,606	1,542	1,471
2月	1,348	788	968	1,480	1,636	1,667	1,839	1,739	1,344	1,364	1,533
3月	1,223	981	1,404	1,908	1,892	1,487	1,834	2,286	1,826	1,326	1,825

WECPNL	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
4月	73.0	73.0	72.0	75.0	74.0	72.0	71.0	71.0	76.0	72.0	72.0
5月	75.0	75.0	72.0	74.0	71.0	69.0	72.0	73.0	71.0	68.0	70.0
6月	77.0	69.0	68.0	73.0	71.0	70.0	70.0	74.0	74.0	71.0	70.0
7月	71.0	74.0	71.0	73.0	71.0	71.0	67.0	72.0	71.0	70.0	68.0
8月	74.0	76.0	74.0	71.0	71.0	70.0	69.0	71.0	69.0	69.0	69.0
9月	71.0	74.0	70.0	74.0	70.0	83.0	67.0	69.0	66.0	67.0	70.0
10月	68.0	72.0	70.0	74.0	73.0	74.0	70.0	71.0	72.0	75.0	70.0
11月	71.0	71.0	70.0	72.0	75.0	73.0	72.0	77.0	72.0	74.0	73.0
12月	72.0	74.0	70.0	73.0	71.0	74.0	73.0	76.0	70.0	74.0	73.0
1月	72.0	73.0	73.0	77.0	76.0	75.0	73.0	76.0	73.0	74.0	74.0
2月	73.0	67.0	74.0	75.0	74.0	77.0	75.0	76.0	74.0	72.0	74.0
3月	74.0	72.0	75.0	76.0	75.0	70.0	74.0	77.0	74.0	73.0	75.0

観測回数

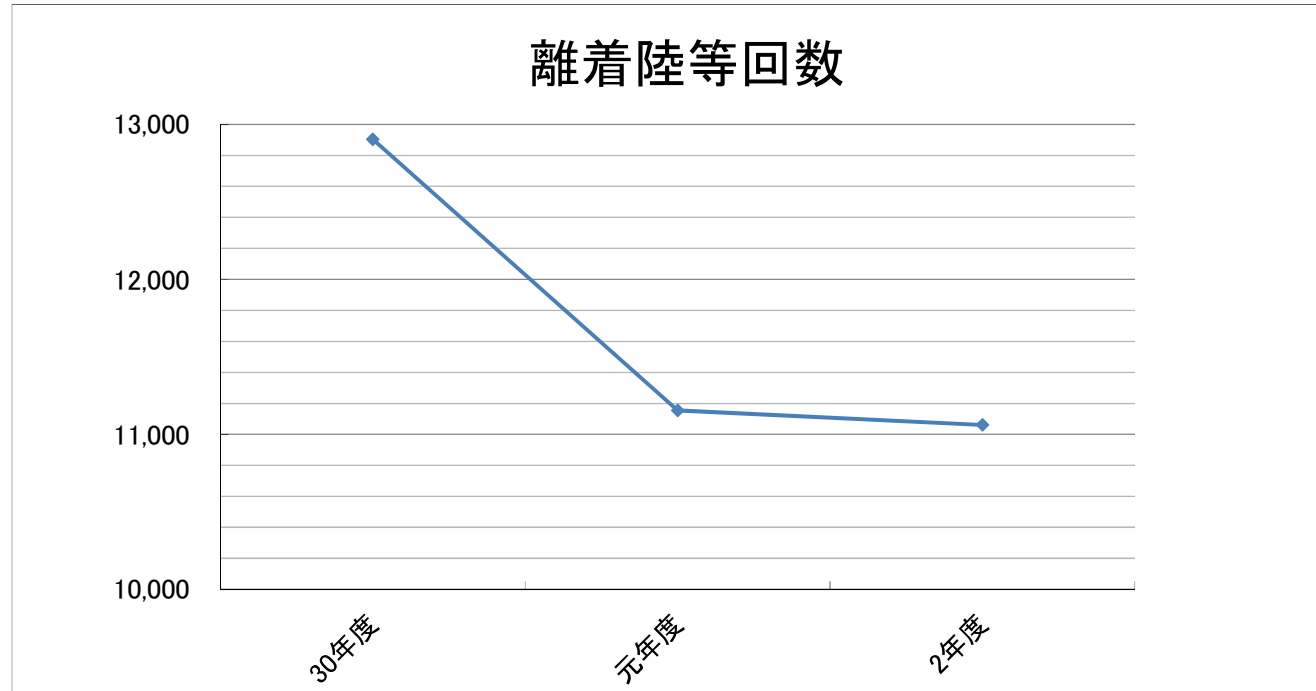


WECPNL



嘉手納飛行場における外来機の離着陸等状況

回数	30年度	元年度	2年度
4月	1,423	848	616
5月	1,006	977	603
6月	1,717	721	708
7月	1,043	753	755
8月	1,102	970	794
9月	664	838	751
10月	866	1,622	920
11月	1,035	1,041	928
12月	679	983	1,024
1月	1,028	850	1,343
2月	1,120	830	1,357
3月	1,220	722	1,262
合計	12,903	11,155	11,061



※離着陸等を行った回数については、沖縄防衛局が目視により把握したものを集計。
 ※離着陸等とは、離陸、着陸、タッチ・アンド・ゴー、通過、旋回を指す。

令和3年10月25日
航空自衛隊千歳基地

令和3年度（上半期）航空機部品等落下について

令和3年4月1日から令和3年9月30日までの間、航空自衛隊千歳基地において発生した航空機の部品等落下について、下記のとおりお知らせします。

記

番号	発生日時	発生場所	機種	落下部品等		
				品名等	大きさ	重さ
1	令和3年 4月15日(木) 12:05～ 13:26の間	千歳基地～ 日本海訓練 空域の間	F-15DJ	スクリュー	直径:約7.0mm 長さ:約14.0mm	約1.0g

(問い合わせ先)

航空自衛隊千歳基地

第2航空団司令部監理部基地対策室

担当：高橋、川崎

電話：0123-23-3101

(内線：2214)

脱落したスクリュー



落下場所：タンク下面

令和 3 年度
苫小牧市航空機騒音対策協議会
要 望 活 動 報 告 書

令和 3 年 1 0 月 2 1 日

- 1 日 程 令和3年10月21日(木) 千歳・札幌
詳細は別紙1のとおり
※東京は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面对応。
- 2 要望活動者 苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽 秀則
副 会 長 三海 幸彦
事務局長 木村 淳
事務局員 柴田健太郎
事務局員 伊藤 貴文
事務局員 新谷 昌洋
- 3 要望活動
(1) 要望先及び要望書宛先 別紙2のとおり
(2) 要望先対応者 別紙3のとおり
(3) 要望書 別紙のとおり
(4) 回答要旨 別紙4～6のとおり
- 4 要望活動の主な質問に対する回答要旨
別紙7のとおり

令和3年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動日程

10月21日（木）

（千歳・札幌） 13：00 北海道防衛局

15：00 航空自衛隊 千歳基地

16：00 国土交通省 東京航空局 新千歳空港事務所
及び北海道エアポート株

書面による東京要望

- ① 地元選出議員（堀井学衆議院議員、山岡達丸衆議院議員、橋本聖子参議院議員）
11/10 に市東京事務所から各議員へ。
- ② 国交省航空局及び国交省東京航空局
10/21 送付済。
- ③ 防衛省及び航空幕僚監部
10/21 送付済。

- 1 日程 令和3年10月21日(木) 千歳・札幌 ※東京は書面による要望
(※国会議員は10月31日の衆議院議員総選挙後に東京事務所を通して要望書を提出する。)
- 2 要望活動者 丹羽秀則会長、三海幸彦副会長、事務局4名
- 3 要望先及び要望書宛先名

■国会議員(議員会館:千代田区永田町)

衆議院議員	堀井学	(国交省・防衛省分)
衆議院議員	山岡達丸	(国交省・防衛省分)
参議院議員	橋本聖子	(国交省・防衛省分)

■国土交通省

国土交通大臣	斉藤鉄夫
国土交通副大臣	中山展宏
国土交通副大臣	渡辺猛之
国土交通大臣政務官	加藤鮎子
国土交通大臣政務官	木村次郎
国土交通大臣政務官	泉田裕彦

◎航空局(千代田区霞が関2-1-3)

局長	久保田雅晴
航空ネットワーク部長	五十嵐徹人
大臣官房参事官(航空戦略)	大塚大輔

◎東京航空局(千代田区九段南1-1-15)

局長	藤田礼子
次長	日巻博文
総務部長	鈴木則義
空港部長	谷川晴一
保安部長	中村文俊
安全管理官	小谷浩一
総務部次長	堀内信幸
空港部次長	佃千加
総務部総務課長	片山英之
総務部航空振興課長	長堀武直
空港部管理課長	是川修治
空港部環境・地域振興課長	前原直也
空港部空港企画調整課長	野田克人
空港部土木建築課長	藤原達
保安部技術保安企画調整課長	吉岡正幸
保安部管制課長	北村達哉
保安部管制技術課長	嶋田泰雄

◎東京航空局 新千歳空港事務所(千歳市美々)

空港長	若狭満
-----	-----

◎北海道エアポート株式会社

代表取締役 社長	蒲生猛
新千歳空港事業所 事業所長	原田浩信

■防衛省

騒音対策 防音

防衛大臣	岸 信 夫	○	○
防衛副大臣	鬼 木 誠	○	○
防衛大臣政務官	岩 本 剛 人	○	○
防衛大臣政務官	大 西 浩 幸	○	○

◎防衛政策局（新宿区市谷本村町5-1）

防衛政策局長	増 田 和 夫	○	
防衛政策課長	飯 島 秀 俊	○	
日米防衛協力課長	中 間 秀 彦	○	
運用政策課長	中 野 滋 明	○	
訓練課長	佐 藤 克 文	○	

◎地方協力局（新宿区市谷本村町5-1）

地方協力局長	岡 真 臣	○	○
地方協力局次長	青 木 健 至	○	○
総務課長	品 川 高 浩	○	○
東日本協力課長	藤 井 真	○	○
地域社会協力総括課長	北 川 高 生	○	○

◎航空幕僚監部（新宿区市谷本村町5-1）

航空幕僚長	井 筒 俊 司	○	
航空幕僚副長	阿 部 睦 晴	○	
総務部長	影 浦 誠 樹	○	
総務部 総務課 基地対策室長	上 林 晃	○	
運用支援・情報部長	稲 月 秀 正	○	
運用支援・情報部 運用支援課長	藤 田 輝 章	○	

◎航空自衛隊第2航空団（千歳市平和）

千歳基地司令	徳 重 広為智	○	
--------	---------	---	--

◎北海道防衛局（札幌市中央区大通西1-2）

局 長	石 倉 三 良	○	○
次 長	茂 籠 勇 人	○	○
企画部長	掛 水 雅 俊	○	○
企画部次長	森 脇 義 雄	○	○
企画部地方調整課長	佐々木 厚	○	○
防音対策課長	吉 田 義 之	○	○

令和3年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望先対応者

国土交通省

東京航空局 新千歳空港事務所		空港長	若狭 満
〃		次長	土田 正典
〃		総務部長	鈴木 努
〃		管制保安部長	田中 剛志
〃		総務課長	山田 聡志
〃		運用調整課長	木村 照幸
〃		総務課長補佐	三谷 大悟
北海道エアポート株式会社		事業所長	原田 浩信
〃	地域共生部	部長	田川 康之
〃		部長	徳中 利安
〃		課長	三村 行雄
〃		課員	西野 紫乃
〃	業務管理課	係長	渡辺 篤

防衛省

北海道防衛局		局長（表敬訪問）	石倉 三良
〃		企画部次長	森脇 義雄
〃	地方調整課	課長	佐々木 厚
〃	企画調整課	課長	吉田 義之
航空自衛隊第2航空団			
司令部 監理部		部長	菅原 義典
〃		基地対策室長	高橋 秀年
〃		基地対策専門官	川崎 道風

要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」に
ついて、別記理由により特段の御高配を賜り
ますようお願い申し上げます。

令和3年10月21日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽秀則

理 由 書

新千歳空港につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、航空路線の減便や運休が続く中、道内空港を取り巻く状況は依然として厳しいものとなっておりますが、将来を見据えた空港施設の新設・改修が計画されるなど、北海道のリーディングゲートウェイとしてさらなる発展が期待されております。

現在、新千歳空港を離着陸する航空機数は減少しておりますが、空港周辺住民から航空機騒音等に対する要望や苦情が寄せられるなど、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国（貴社）におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること

- 4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

要 望 書

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」

／「防音対策事業」について、別記理由により

特段の御高配を賜りますようお願い申し上

げます。

令和3年10月21日

苫小牧市長 岩 倉 博 文

苫小牧市航空機騒音対策協議会

会 長 丹 羽 秀 則

理 由 書

千歳飛行場につきましては、航空自衛隊による通常訓練や政府専用機の訓練に加え、米軍再編に伴う訓練移転や他国との共同訓練などにより航空機騒音が増え、また、近年、自衛隊機による部品落下事故も繰り返し発生しております。

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっておりますが、飛行場周辺住民は、航空機騒音に悩まされるとともに、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところですが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

理 由 書

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあつて、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること

要望事項に関する回答要旨（国土交通省及び北海道エアポート(株)）

要望事項	新千歳空港事務所	北海道エアポート(株)
<p>1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 着陸時における飛行高度の引き上げや、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の徹底等、現時点で可能な対策を最大限講じている。 一方、天候等の状況に応じては、航空交通の安全確保の観点から、やむを得ず市街地上空を飛行することについては、ご理解いただきたい。 今後も航空機騒音の軽減を図るとともに、空港運営会社や管制機関とも連携を図り、航空会社に対する指導監督等を適切に実施する。 	なし
<p>2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること 特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと</p>	なし	<ul style="list-style-type: none"> 運航自粛時間における飛行については、騒音軽減の観点から、各航空会社に対して、定時運航の確保について協力要請を引き続き行っていきたいと考えている。
<p>3 低騒音機種への切替えを促進すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音機種への切替えについては、従来どおり固定資産税の減免等の支援を行っている。 今度とも低騒音機種への導入を推進していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音機種の切替え促進については、着陸料騒音課金の継続運用切り替えを図っていく。
<p>4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> 着陸時における飛行高度の引き上げ、離陸時における住宅地域を避けた飛行経路の設定等を行っている。 外国貨物機についても同様に措置を行っており、現時点における最大限の対策は講じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 着陸料、騒音課金の継続運用により低音機種への切り替えを促進していく。
<p>5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全運航の確保については、最重要課題であると認識している。 本省航空局において、安全監査を通じて、整備点検等の確認を行う等対策を行っている。 航空法に基づき報告されたトラブルについては、要因分析を行って、再発防止及び予防安全対策に取り組むとともに、情報公表を行っている。 今後とも、安全運航の確保に万全を期して、航空会社等に対する指導監督を適切に実施して、皆様の安全・安心に対する信頼を得られるように努めてまいりたい。 	なし

要望事項	新千歳空港事務所	北海道エアポート(株)
※ 美沢川の水質問題について	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・航空局から過去の経緯や現在の状況など含むすべての資料を引き継ぎ、実際に現地での研修を行うなどして、確実に継承を行っている。 ・航空局の取組みを今後も確実に遂行できるよう実施してまいりたい。

要望事項に関する回答要旨（防衛省） 騒音軽減・安全対策

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊 第2航空団
1 市街地上空での低空飛行を避けること	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練に参加する戦闘機等について、平素から機体の定期整備、飛行前後の点検等を適切に実施しており、十分な安全確保が図られている。 ・騒音等による飛行場周辺への影響を最小限とするよう、深夜早朝並びに土日祝日の飛行は、可能な限り回避するよう配慮しているが、緊急発進や災害派遣等により、飛行指示があった時にはご理解いただきたい。 ・要望内容については、航空自衛隊第2航空団や本省にもしっかりと伝えるとともに、事故等に係る情報は、自衛隊等と連携し苫小牧市をはじめとした関係自治体に、速やかに情報提供できるように努めてまいりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛行訓練については、航空法等に基づき、それを遵守し実施している。 ・他基地から飛行訓練等で来たパイロットに対しても、千歳基地特有の制約事項等の教育指導を実施している。 ・今後も安全飛行を念頭に置きつつ、市街地上空の低空飛行を回避するよう配慮してまいりたい。
2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 	<ul style="list-style-type: none"> ・天候等の状況により、安全確保のため、雲を避ける飛行をする場合があることも十分ご理解いただきたい。 ・可能な限り騒音の軽減に努めてまいりたい。
3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 	<ul style="list-style-type: none"> ・深夜早朝の飛行訓練を原則として実施しないこととしているが、緊急発進、災害派遣等の任務や上級部隊が計画する演習については、飛行する場合があることをご理解いただきたい。
4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること	<ul style="list-style-type: none"> ・同上 	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日は、通常の飛行訓練は計画していないが、上級部隊が計画する演習、航空祭及び他基地への展示飛行等の支援により、飛行する場合がありますので、ご理解いただきたい。

要望事項	北海道防衛局	航空自衛隊 第2航空団
<p>5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること</p> <p>また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平素より、定期的な整備、飛行前後の点検等を適切に実施するとともに、隊員教育を実施して事故防止に努めている。これまでと同様、引き続き安全確保を強化してまいりたい。 ・ 万が一、事故等が発生した場合には、苫小牧市をはじめとした関係自治体への速やかな情報提供に努めてまいりたい。
<p>※米軍再編に伴う訓練移転における安全管理及び情報提供について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練に参加する航空機については、定期整備、飛行前後の点検を適正に実施し、十分な安全確保が図られている。 ・ 訓練に参加する航空機の事故情報については、自衛隊の部隊等と連携し、苫小牧市をはじめとした関係自治体に提供できるよう努めてまいりたい。 	<p>なし</p>
<p>※沖縄の負担軽減について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練移転により、本来であれば嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練の一部が本土又はグアム等に移転されたことから、同飛行場周辺の住民に対する騒音の影響が一定程度軽減されているものと認識している。 ・ 今後とも米軍に対し、飛行場周辺の騒音軽減が図れるよう求めるとともに、訓練移転を積み重ねるなど、可能な限り沖縄の負担軽減に努めてまいりたい。 	<p>なし</p>

要望事項に関する回答要旨（防衛省）防音対策

要望事項	北海道防衛局
<p>1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅防音工事については、環境基本法に基づき定められた航空機騒音に係る環境基準の趣旨を踏まえ、75W以上の区域において、屋内で60W以下となるよう助成措置をとっている。 ・75W未満区域の住宅防音工事の取扱いについては、住宅防音事業の今後のあり方に関わる課題であり、全国の進捗状況等を踏まえ、今後の検討課題であると考えている。 ・(70W以上の)全室を対象とすることについては、現在の住宅防音工事の制度では、75～85Wの区域については、原則、世帯人員+1居室を対象とし、5居室が限度となっているところ。 ・なお、特に騒音の著しい85W以上の区域においては、居住人数に関わらず、住宅の家屋全体を防音工事の対象とする外郭防音工事を実施しているところ。 ・当面は、当該区域における同工事の促進に努めることが先決であると考えており、助成対象範囲の拡大については、全国の同工事の進捗状況等を踏まえつつ、今後検討してまいりたい。 ・告示後に建築された住宅の防音工事については、特に地元要望が強いものと承知しており、厳しい財政状況の中、どのような対応が可能か引き続き検討していく。

令和3年度要望活動結果について (要望活動時の主な質問に対する回答要旨)

《新千歳空港事務所及び北海道エアポート株式会社》

● デアイシングエプロンについて

Q デアイシングエプロンの整備は具体的に進んでいるのか。

A 整備内容を含めて、国と関係機関で検討をしている。

(新千歳空港事務所回答)

Q 施設の増築、あるいは新しく作る費用は国でやるのか。

A 国で整備をしている形となる。

(新千歳空港事務所回答)

● 着陸料騒音課金について

Q 一定以上の騒音を出すと、航空機会社に課金しているのか。

A 着陸料の料金計算の中で、騒音基準を持って着陸料を高く設定することにより、低騒音機への乗換えを促進していくことに取組んでいる。

(北海道エアポート(株)回答)

Q 今年の冬は雪が少なかったが、雪を集めて夏の冷房に使っているのか。

A 空港内の雪は排雪ピットに全て集め、夏場数カ月間の空港ビル内の空調のコスト削減に役立っている。

(北海道エアポート(株)回答)

● 韓国仁川空港との協定について

Q 韓国仁川空港と連携協定を結んだということだが。

A 北海道と韓国それぞれ観光地の情報発信のほか、海産物など道内の物産品を海外に輸出するための物流強化を目指すことが柱と考えている。

新千歳空港着の国際線は、コロナの影響で昨年3月から全ての定期旅客便が運休しており、再開に見通しは立っていないが、協定を足がかりにコロナ収束後の海外需要をいち早く取り込む体制をつくりたい考えでいる。

(北海道エアポート(株)回答)

《防衛省 航空自衛隊 千歳基地》

● 部品落下事故について

Q 築城基地のF-2戦闘機から風防が落下したとのことだが、千歳基地では部品落下の心配はないのか。

A 千歳基地ではこのような事故が起こらないよう点検をしている。

● ワクチン接種について

Q 今回の米軍訓練移転では、米軍側はワクチン接種をしてから訓練に参加したが、自衛隊のワクチン接種は終わっているのか。

A 希望した隊員については、基地内で職域接種も含めて終わっている。

Q 隊員でワクチン接種を拒否する人はいたのか。義務付けてやらせていることではないのか。

A 義務ではない。基本的に本人の希望に沿って接種している。

正確な数字は申し上げられないが、大多数の隊員が希望し、既に接種は終わっている。

《防衛省 北海道防衛局》

● 航空機部品落下について

Q F-2戦闘機から風防が落下したということだが、下に住んでいる人がいることを意識し点検整備をしていただきたい。

A 全国の皆様にご心配をおかけし大変申し訳ない。防衛大臣からも、全機種点検するよう指示が出ており、防衛省として航空機の安全に取り組む。

令和3年度上半期 新千歳空港における民航機の引き返し及び目的地外空港への着陸について

	着陸日	種別	路線		航空会社便名	着陸理由			目的地外着陸/ 引き返し	理由詳細
			発	着		機材不具合	天候不良	その他		
1	R3.4.13	国際	羽田	シカゴ	JAL10	○			目的地外着陸	機内異臭のため
2	R3.4.30	国内	帯広	羽田	ADO68	○			目的地外着陸	機内異音のため
3	R3.5.13	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	悪天候のため
4	R3.5.17	国内	新千歳	女満別	JAL2715		○		引き返し	悪天候のため
5	R3.5.17	国内	新千歳	女満別	JAL2719		○		引き返し	悪天候のため
6	R3.5.21	国内	新千歳	釧路	ANA4871		○		引き返し	悪天候のため
7	R3.5.21	国内	女満別	羽田	JAL564			○	目的地外着陸	急患発生のため
8	R3.5.27	国内	新千歳	羽田	JAL502	○			引き返し	デアイシング不具合のため
9	R3.6.12	国内	新千歳	利尻	ANA4929		○		引き返し	悪天候のため
10	R3.6.17	国内	新千歳	稚内	ANA4841		○		引き返し	悪天候のため
11	R3.7.5	国内	新千歳	羽田	ADO38	○			引き返し	エンジンのフィルターメッセージのエラー表示
12	R3.8.1	国内	新千歳	利尻	ANA4929		○		引き返し	悪天候のため
13	R3.8.2	国内	新千歳	稚内	ANA4841	○			引き返し	ハイドロトラブルのため
14	R3.8.6	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	悪天候のため
15	R3.9.8	国内	新千歳	関西国際	ANA1720	○			引き返し	ギア不具合のため
16	R3.9.12	国内	新千歳	釧路	ANA4875		○		引き返し	悪天候のため
17	R3.9.22	国内	羽田	釧路	ANA741		○		目的地外着陸	悪天候のため
18	R3.9.23	国内	新千歳	利尻	ANA4929		○		引き返し	悪天候のため
合計		国内	引き返し14件（機械不具合4、天候10、その他0）			目的地外着陸3件（機械不具合1、天候1、その他1）				
		国際	引き返し 0件（機械不具合0、天候 0、その他0）			目的地外着陸1件（機械不具合1、天候0、その他0）				

北海道エアポート株式会社より

令和3年度 再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）

（単位：千円）

事業名	総事業費	交付金				現額	
		①当初額 R3年4月	②変更後 R3年11月	②-① 増減			
植苗・美沢地区	除雪車両整備業務（当初）	43,521	50,000	40,000	-10,000	40,000	
	星ヶ丘13号線改良舗装工事（実施設計）	7,000	6,300	6,300	0	6,300	
	植苗ファミリーセンター備品等整備事業 （※予定表示板、除湿器等）	1,768	0	1,670	1,670	1,670	
	植苗小中学校教育環境整備事業 （※ピアノ、総合百科事典等）	4,867	0	4,490	4,490	4,490	
	小計	57,156	56,300	52,460	-3,840	52,460	31.7%
沼ノ端地区	東開町防火水槽新設工事	20,284	20,000	19,800	-200	19,800	
	ウトナイ・青翔中学校教育環境整備事業	26,600	12,600	12,600	0	12,600	
	災害用備蓄電器整備事業	11,652	9,000	9,000	0	9,000	
	沼ノ端地区小中学校教育環境整備事業 （※ピアノ、総合百科事典等）	5,354	0	4,990	4,990	4,990	
	小計	63,890	41,600	46,390	4,790	46,390	28.1%
勇払地区	勇払公民館火災受信機等整備事業	10,684	12,100	10,500	-1,600	10,500	
	勇払小学校・中学校教育環境整備事業 （※ピアノ、総合百科事典等）	10,287	6,900	9,160	2,260	9,160	
	小計	20,971	19,000	19,660	660	19,660	11.9%
三地区共通	小中学校図書整備事業	11,000	10,000	10,000	0	10,000	
	消火活動装備品整備事業	18,000		16,200	16,200	16,200	
	高度救急処置シミュレーター等整備事業	5,930		5,330	5,330	5,330	
	小計	34,930	10,000	31,530	21,530	31,530	19.1%
共通	市立病院医療機器整備事業（最終調整弁） （※分娩台、人口呼吸器、電気メス等）	15,290		15,290	15,290	15,290	
	小計	15,290	0	15,290	15,290	15,290	9.2%
合計	192,237	126,900	165,330	38,430	165,330		

再編関連訓練移転等交付金 165,330千円

令和3年 4月1日 定額分（一次配当） 101,908千円
 令和3年11月5日 実績分（二次配当） 63,422千円

令和4年度 再編関連訓練移転等交付金予定事業（案）

(単位：千円)

事 業 名		交付金	
植苗・美沢地区	星ヶ丘13号線改良舗装工事	38,700	
	植苗小中学校東屋設置事業	2,200	
	防災倉庫整備事業(実施設計)	2,000	
	小 計	42,900	27.7%
沼ノ端地区	(仮称)沼ノ端鉄南地区文化交流サロン備品整備事業	50,000	
	ウトナイ北防火水槽新設工事	20,000	
	小 計	70,000	45.2%
勇払地区	勇払パークゴルフ場用地取得事業	26,000	
	勇払小・中学校放送機器更新事業	5,400	
	小 計	31,400	20.3%
三地区共通	小中学校図書整備事業	10,000	
	小 計	10,000	6.5%
共通	市立病院医療機器整備事業（最終調整弁）		
	小 計	0	0.0%
合 計		154,300	

再編関連訓練移転等交付金	155,000千円（見込み）
--------------	----------------

※その他検討事項

植苗	防災倉庫整備事業(工事)
----	--------------